

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

Amazon

出羽庄内国際村音楽祭2010

モンゴルの風にのせて ～モンゴル民族音楽コンサート～

モンゴルの人々の間では、広大な草原を風のように力強く響き渡る独特な音楽が数多く生まれ伝承されています。今回はモンゴル伝統芸術協会の演奏者をお招きしました。モリン・ホール（馬頭琴）やホーミーをはじめ、モンゴル民族ならではの楽器と音楽をお楽しみください。

9月18日(土)

17:30開場 / 18:30開演

出羽庄内国際村ホール

大人 / 1,500円 (当日2,000円)

中高生 / 1,000円

小学生以下 / 無料

モンゴル料理・飲み物コーナーあります(有料)

チケット販売・お問合せ先
出羽庄内国際村 TEL 0235-25-3600

ボランティアスタッフ募集

音楽祭にお手伝いいただけるスタッフを募集しています。コンサートへ向けた準備、または当日にお手伝いいただける方、ボランティアに興味のある方は国際村までご連絡ください。



Ts. バトチョローン (モリン・ホール) M. サウガゲレル (リンベ/ホーミー) N. ムフナサン (ジョツルガ) 山本敦子 (ヨーチン)

主催：出羽庄内国際村音楽祭 2010 実行委員会 後援：鶴岡市・鶴岡市教育委員会

あとがき

今年の夏は、全国的に猛暑に見舞われ、この庄内も近年になく暑い日が続き、皆さんも体調の維持管理に苦労されたのではないのでしょうか。

さて、国の東アジア青少年大交流計画（5カ年で東アジアから6千人を招へいする計画）が始まってから今年で4年目を迎えますが、当財団では、一昨年のラオス、昨年のマレーシアに続き、今年は6月にインドからの高校生訪日団20名を受け入れました。鶴岡中央高校生徒との交流や地域の生活や文化を体験するプログラムを通して、この鶴岡で日本を体験していただきました。

このように、国の機関から毎年訪問団受け入れのご依頼があるのも、ホストファミリーの皆様を始め、学校関係者等々、地域でしっかりと、そして暖かく迎えてくれる環境がこの鶴岡には整っているというふうにご受け止めていただいているからかとも思われ、そうしたことをこれからも大切に、さらに助長しながら進めていきたいと思っております。

ご協力をいただいております、関係者の皆様にご改めてお礼を申し上げます。

賛助会員へのご協力をお願いします

国際村では、賛助会員制度を設けております。会員特典は、会報の送付、主催事業のご案内、事業参加費の割引、会報で団体名のご紹介、アマゾン民族館入館無料です。

《年会費》一般 / 3,000円、高校、大学生 / 2,000円、小、中学生 / 1,000円、法人 / 1口 10,000円
《期間》平成23年3月31日まで

平成22年度 賛助会員 ご加入ありがとうございます

入会された皆様に御礼申し上げます。

個人：大人224名 高、大学生1名 小、中学生3名
法人会員（入会順・敬称略）：国際ソロプチミスト鶴岡
北星印刷(株) 鶴岡ライオンズクラブ 鶴岡太極拳教室
荘銀事務サービス(株) 太平ビルサービス(株)
(有)阿部園芸 山形サンダー(株) (株)鶴岡電子計算センター
ツルカンシステム(株) (社)鶴岡青年会議所
鶴岡信用金庫 鶴岡商工会議所 (株)メコム
庄内国際交流協会 庄内観光コンベンション協会



ロッキー山脈の雪解け水の川で豪快にラフティング（コロラドスタディーツアー2010）



国際村だより もくじ

- P 2～3：第16回ワールドバザール
- P 4：夏休みアマゾン子どもフェスティバル
インド高校生訪日団
- P 5：コロラドスタディーツアー2010
- P 6：これまでの事業
せかいの台所（インド）・フレンドシップサロン
東ドイツの童話を原語で読もう！・海の運動会
- P 7：これからの事業
秋の外国語講座・中国語一日講座
タイ語短期講座・せかいの台所（アメリカ）
- P 8：出羽庄内国際村音楽祭2010



世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00～17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 54

Quarterly



第16回出羽庄内国際村

ワールドバザール

6月13日(日)、出羽庄内国際村の最大のイベント、第16回ワールドバザールを開催しました。当日は好天に恵まれ、朝から大勢の方々が詰めかけました。

中庭では世界各地の料理や雑貨の模擬店が並び、ホールでは人気の中国雑技や様々な地元団体のステージが繰り広げられ、国際色豊かに盛り上がった一日となりました。

世界の料理と華麗なステージ

ワールドバザール名物ともいえるのが中庭に並ぶ模擬店。韓国、中国、イタリア、タイ、バングラデシュ、エジプトなど世界各国の料理の食べ歩きができました。また、アジアや中南米の民芸品なども販売され、国際色豊かな空間となりました。

ホールでは華麗なステージが繰り広げられました。ゲストの中国雑技の二人が次々と繰り出す技に皆驚きの声をあげ、地元団体による歌やダンス、楽器の演奏などのステージは大いに盛り上がりました。

そのほか、館内では各団体のバザーコーナーと国際交流団体の紹介コーナー、正面入口前ではフリーマーケットが開かれ、いずれも大勢のお客さんで賑わいました。

エコへの取り組み

ワールドバザールでは「環境にやさしいイベント」をめざし、3年前からエコに取り組んでいます。

「分別の徹底、ごみの減量、リサイクル」を柱にフィルム付きリサイクルトレイを使い、ごみの分別やトレイからフィルムをはがす作業を、実際



に使った方からお手伝いいただきました。その結果、約700枚のトレイと、約450膳の割りばしをリサイクルに出すことができました。

ボランティア活動

庄内地域の大学、高校をはじめ、各団体、一般の方からボランティアでお手伝いいただきました。47名の方々ありがとうございました。

協力団体等 東北公益文科大学、慶應義塾大学先端生命科学研究所、羽黒高校、鶴岡東高校、日本語教室、国際村登録ボランティア

日本赤十字社に寄付

今年はハイチ、チリ、中国で大きな地震が相次ぎ、寄付を呼びかけたところ、皆さまから2,299円の募金をいただきました。フリーマーケットの出店料14,000円とあわせ、日本赤十字社にお届けしました。ご協力ありがとうございました。

実行委員長からお礼のひとつ

実行委員長 佐藤恒

天気の良いすぎるほどの晴天の中、第16回ワールドバザールは開かれました。

中国雑技はじめステージ発表、そして世界各地からの人々による料理のブース、各種団体の紹介やフリーマーケットなど、一日中来館者を飽きさせないように、今年も皆で精一杯やっつけました。

山形の地方都市に居ながら、異国の文化と身近に触れあえることは、大変素晴らしく意義深いものであると、私は毎年思っております。そしてそれは来館者に、肩の凝らない国際知識や、気負いのない国際交流を知らず知らずのうちに感じてもらっているのではないのでしょうか。



マイ箸・マイどんぶり・マイバッグなどの取り組み方法にはまだ多少の問題もありますが、今後とも皆で考えていければと思います。

各団体から選出された実行委員の方々やスタッフの皆様、そしてボランティアスタッフの皆様には、3月の準備段階から大変ご苦勞をおかけしましたが、その

準備があったればこそ今年も成功裏に終えることができたのではないかと感じています。

また、このみんなの和と輪が来年、再来年へとつながっていきますようお願いしております。

ワールドバザール参加団体(五十音順)

明日葉の会、アンサンブル桜ヶ丘、エアメールの会、英語交流クラブ、カフェ・バングラデシュ、カレーの会(鶴岡ユネスコ協会)、木田林秀栄 津軽三絃秀栄会、金魚の会、国際ソロプチミスト鶴岡、Gospel Delights、庄内国際交流協会、庄内日韓親善協会、庄内町国際交流協会、せかいの台所、タイニースターズ、タオライの会、だがしや楽校、チーム・コロラド、地球の子どもネットワーク、中国倶楽部、(社)鶴岡青年会議所、鶴岡太極拳教室、鶴岡・ニューブランドウィック友好協会、鶴岡ライオンズクラブ、二胡迷、日本語教室、藤沢地区大黒舞グループ

フォトアルバム



世界の料理の模擬店



バザーコーナー



豪快な三味線の演奏



中国雑技の妙技



初登場 キッズチアのタイニースターズ



恒例のフリーマーケット



「夏休みアマゾン子どもフェスティバル」が8月14日(土)に開催されました。これは、アマゾンに住むインディオたちの生活についてもっとよく知ってもらおうと、アマゾン民族館が毎年夏休み期間に企画しているものです。

今年のテーマは「インディオのおしゃれな装飾」ということで、とにかく装飾にこだわった内容。インディオの頭飾り、首飾り、耳・下唇飾り、腰飾りなどをテーマに、スライドや山口吉彦館長が集めた資料を見ながら、その作り方、素材、身につける意味などを、ワークシートを使って学びました。その中でも、色紙で頭飾りを作るワークショップでは、子どもたちが色の組み合わせを考えながら、個性あふれるものを作り上げていました。続いてボディペインティング体験。

8/14 なつやす 夏休み アマゾン子どもフェスティバル

アマゾンのインディオは肌に直接模様を描きますが、今回は肌色のTシャツに色を塗りました。インディオたちと同じようにウルク(木の実)で赤色を、炭で黒色を。今回は兄弟で参加が多く、お互いに色の塗り合いをして「ワー!キャ〜!」と盛り上がっていました。

最後は昨年好評だった、アマゾンフルーツの試食会。今回もアサイーとクブアスの2種類を用意しました。見たり聞いたり、作ったり食べたりと、アマゾンのインディオの生活をいろいろな形で体験でき、夏休みの楽しい思い出となりました。



指でベタベタ、模様が描かれていきます。

21世紀 東アジア青少年大交流計画 インド高校生訪日団が来鶴

Delegation for Indian High School Students' Visit to Yamagata

6月25日から6月30日までの期間、日本政府が実施する「21世紀 東アジア青少年大交流計画」事業で、今年度はインドの高校生が鶴岡を訪れました。

国際村での受け入れは、ラオス、マレーシアに続いて今年で3回目。今回はインド国内で選ばれた18名の高校生と2名の日本語教師が鶴岡での生活を体験しました。

一口にインドといっても文化や習慣は様々。受け入れにあたって、食事や習慣などについてホストファミリーの皆さんと一緒に確認し、準備を進めてきました。

訪問の大きな目的の一つが、地元の高校との交流でした。今回も鶴岡中央高校で一日交流をさせていただきました。



中央高校での交流

高校では料理実習で一緒にのり巻きを作ったり、インドの高校生に中央高校の生徒が浴衣を着せてあげたりと、様々な活動を通して

交流を深めました。インドの高校生が英語を上手に使うのを見て、刺激を受けた日本の生徒もいたようです。

またホームステイも大きな内容の一つ。高校生は1家庭に二人ずつ、2泊3日の滞在をしました。対面式の時には不安な顔を見せる生徒もいましたが、最後の交流会では、別れが悲しく泣いてしまう生徒や家族も。短い期間でしたが、心の通う交流になりました。また今年度は初めての試みとして、羽黒地域にある貴船保育園を訪問。園児との交流を通し、日本の幼児教育について学びました。



保育園の子どもたちと

園児が歌や踊りなどを披露し、最後にはインドの高校生も一緒に踊るなど、特別な思い出になったようです。今回の訪問で生まれた人と人の交流が、今後も続いていくことを期待します。



コロラドスタディツアー2010 報告



州花・コロンバイン

出羽庄内国際村では、今年もアメリカ合衆国コロラド州へのスタディツアーを実施しました。今回は社会人3名、中高生3名の合計6名の参加があり、社会人は7月29日から8月6日まで、中高生は7月29日から8月10日までの日程で、ホームステイをしながら英語やアメリカ文化について学びました。

このツアーは、2008年から国際村が行っているもので、今年度は社会人と中高生を同時に募集。4月の初めに国際村で行った英語セミナーの講師、村治孝浩氏(コロラド在住)が中心となって現地受け入れをし、ホストファミリーに関してはデンバー大学の関係者、ジム・キダー氏が、英語の授業についてはレッドロック・コミュニティカレッジのリンダ・ヤズダニ先生がそれぞれ担当してくださいました。このような現地での心強いサポート体制があり、大変充実した内容のツアーとなりました。



英語の授業風景

ホームステイは一人1家庭に滞在。最初はまったく違う環境や不慣れな英語に戸惑い気味でしたが、各家庭の温かい受け入れがあり、次第に家族にも慣れていきました。自分の家のように自由に冷蔵庫を開けたり、



チームワークが大切!

子どもと一緒に自転車で買い物に行ったり。短い期間でしたが、家族同様に過ごさせてもらい、心の通う滞在となりました。

今回のアメリカ文化と英語の講義は、鶴岡工業高等専門学校姉妹校でもある、レッドロック・コミュニティカレッジを会場に行われました。英語の授業では留学生担当のリンダ・ヤズダニ先生が、日本人の苦手な発音や慣用語などについて指導。笑い声の絶えない楽しい授業でした。また中高生のプログラムでは、ロッキー山脈を体感できるラフティング(川下り)をしたり、独特な気候から生まれる広大な砂漠を見学したりしました。

今年のツアーのもう一つのハイライトは、コロラド日系人会が主催する、年に一度のピクニックに参加したこと。コロラド州と山形県とは姉妹州の関係でもあり、以前より日系人会からは、山形の紹介などをして欲しいとの要請がありました。デンバー市内の公園で、約200人分の山形名物・芋煮を作って日系の方々や地域の皆さんにふるまったり、事前に練習してきた花笠踊りを披露したりしました。

参加者からは「ホストファミリーとも親しくなってきたのに、期間が短くて残念だ」「短期間なのに様々な事が体験できてすごく充実していた」というような声も聞かれました。この交流事業は今後も継続していく予定です。



日系人会の皆さんに花笠踊りを披露

スタディツアー スケジュール

- 7/29 デンバー着 ホストファミリーと顔合わせ
- 7/30 コロラド州庁舎見学、コミュニティカレッジにてアメリカ文化についての講義と英語の授業
- 7/31 ボルダール市ファーマーズマーケット散策 ブルー湖ハイキング
- 8/1 コロラド日系人会主催のピクニックに参加 芋煮をふるまったり、花笠踊りを披露
- 8/2 ロッキー山脈国立公園ハイキング、乗馬体験
- 8/3 デンバー近代美術館、デンバー自然史博物館見学
- 8/4 コミュニティカレッジにて英語の授業、ホストファミリーとの全体夕食会
- 8/5 ★社会人グループ帰国 恐竜の化石の見学、デンバー市内見学
- 8/6 ラフティング体験、仏教寺院見学。
- 8/7 グレートサンデューン(砂漠)散策
- 8/8 終日ホストファミリーと過ごす
- 8/9 中高生グループ帰国





出羽庄内国際村 これまでの事業



6/20 せかいの台所

インド料理～クリス・クマールさんの台所～



今年度第2回目のせかいの台所は、インド料理。講師にシンガポール出身でインドにルーツを持つクリス・クマールさんを招き、挽肉で作る「キーマカレー」、プレーンヨーグルトをたっぷり使ったサラダ「ライタ」、お米をコンデンスミルクと牛乳で煮込んだデザート「フェルニ」の3品を教えていただきました。クリスさんは時々友人に料理を教えているそうで、さすがの手際の良さ。料理を作りながら講師と参加者の皆さんの会話がはずみ、とても楽しい料理教室でした。

今回のキーマカレーは合挽き肉でしたが、牛肉100%で作ると、味がかなり違って、それもまたおいしいそうです。



短期講座 東ドイツの童話を原語で読もう！

夏の短期講座として開講したドイツの童話を読む講座。定員10名に対して8名の方から申込みがあり、全5回の講座を終えました。



童話「Der kleine Angsthase」

講師には、児童書翻訳者で鶴岡市在住の佐藤伸浩さんを迎え、東ドイツの童話「Der kleine Angsthase (ちいさなビクビクうさぎ)」を教材に、ドイツ語やその文化について学びました。単語や文法だけでなく、実際に声に出して発音してみたり、童話の背景に隠された社会情勢を読み解いたりするなど、ドイツ語初心者でも気軽に受講できる内容でした。



好評につき、秋に第2弾を予定しています。さて、今度はどんな物語を知ることができるでしょう。楽しみにお待ちしております。

7/3 フレンドシップサロン



様々な分野で活躍されている方をゲストに迎え、お話をうかがう「フレンドシップサロン」が、久しぶりに開催されました。今回のゲストは、アメリカのワシントン州にあるサムナー高校で日本語教師をされているケイ・ジョーンズ先生。毎年サムナー高校の生徒たちと一緒に鶴岡を訪れていて、今年で5回目の来鶴になります。

お話は全て日本語で行われ、サムナー高校での日本語の授業や生徒たちの様子、交換留学生としてサムナー高校に在籍していた鶴岡中央高校の生徒の様子などを、映像を映しながら楽しくお話いただきました。

サムナー高校から来ている二人の高校生も参加。ケイ先生の日本に対する親愛の気持ちが大変感じられるお話会でした。



8/1 海の運動会



忍者水上渡り



みんなで集合写真

8月1日(日)、日本語教室の学習者や指導ボランティアの皆さん、またそれぞれの家族、合わせて29名が、堅苔沢地区で行われた「海の運動会」に参加しました。

堅苔沢自治会が主催するこの運動会は、今年で10回目。去年は悪天候で中止となりましたが、今年は風も穏やかで、良い天気にも恵まれました。皆さんは競技に参加したり、出場者の応援をしたりして、楽しく一日を過ごしました。「来年も参加したい」という声も聞かれました。

毎年、国際村の日本語教室の皆さんを招待して下さる堅苔沢自治会の皆様に心より感謝申し上げます。



出羽庄内国際村 でわしょうないこくさいむら DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

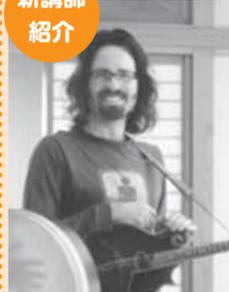
このコーナーは、出羽庄内国際村の事業や募集などをお知らせするページです。詳しくは、出羽庄内国際村事務局にお問合わせください。

9月からの 出羽庄内国際村 外国語講座

約1ヶ月の夏休みを終え、9月から秋の講座を開講します。講師の都合等で、残念ながら閉講になったコースもありますが、今後調整がつか次第、順次開講していきたいと思えます。

また、「東ドイツの童話を原語で読もう！」第2弾も計画中です。これからも、出羽庄内国際村の外国語講座をよろしくお願ひいたします。

新講師紹介



フリートーク型講座の「かんぱせーしょん喫茶店」(英語)を担当していただく事になったコリー・ティックナーさん(アメリカ出身)。趣味はマンドリン演奏や合気道。昔の演歌を習うことも！カラオケもお得意のようです。

☆詳しくは国際村ホームページをご覧ください。
<http://www.dewakoku.or.jp>

短期講座 タイ語講座 秋編 ~はじめの一步~

夏に開講した短期講座を受けて、「タイ語講座 秋編~はじめの一步~」を企画しました。

講座を担当される川上アンさんは、タイ王国・バンコク出身で、現在は酒田市在住です。

この講座は10月から始まります。対象は初心者となりますが、経験者も大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。

◎日程：10月2、9、16、23、30日 毎週土曜日全5回
◎時間：10:30~12:00 ◎場所：国際村2階小研修室
◎受講料：6,500円 ◎定員：先着10名(3名以上で開講)



夏の講座風景



講師のアンさん

◎内容：発音をはじめ、挨拶などの基本会話を中心にしたタイ語を学んでいきます。

◎申込み締切：9月25日(日)まで

10/3日 中国語 一日実践講座

5回目を迎える中国語の一日実践講座。今年も昨年と同様、中国旅行中に遭遇する様々な場面を設定し、実用会話を学びます。



参加者のレベルアップをめぐし、個人個人の水準にあったプログラムを企画しました。基本的な会話を一緒に練習した後は、参加者がそれぞれホテル、ショッピングセンター、喫茶店、タクシー乗り場などの場面で中国旅行を疑似体験します。各場面にいる指導者との実践的な会話を通し、使える中国語を身につけます。

日時：10月3日(日) 9:30~16:00頃

場所：出羽庄内国際村ホール

参加費：3,000円(小中学生1,500円)(昼食代込)

対象：中国語のレベルアップをめざしたい方

持ち物：筆記用具

詳しくはお問ひ合わせください。

10/24日 せかいの台所 アメリカ料理



国際村の人気講座である「せかいの台所」では、庄内在住の各国出身の方々を講師として招き、自国の得意料理を教えていただいています。

今年度は4月にカンボジア料理、6月にインド料理、8月はブラジル料理と学んできました。10月はアメリカ料理をさせていただきます。

講師は、鶴岡市内の小中学校で英語教師をしているアメリカ出身のギャビン・グリーンさん。今回はハンバーガー、ガーリック・マッシュポテト、悪魔の卵という名の卵料理、ハムとチーズをチキンで巻いて揚げるチキン・コランブルー、食後のデザートとしてピーナッツバターサンドイッチなどを作ります。特にハンバーガーは、ギャビンさんのお祖母さんのレシピを改良したもので、ソースが絶品だと友人の間でも評判だそうです。楽しみです。